

京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ杯

第3回京都パラボッチャ競技大会 開催要項

1 目 的

- (1) パラリンピック正式競技であるボッチャ競技の普及と将来ボッチャ選手として活躍を目指す人材の発掘の機会とする。(2021年開催の全国障害者スポーツ大会より正式種目となる)
- (2) 大会を通して、障がいのある人々相互に、また障がいのない人々との連帯を深め、共生社会の実現に寄与することを目的に開催する。

2 名 称 京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ杯第3回京都パラボッチャ競技大会

3 日 時 令和7年5月18日(日) 午前10時～午後4時(受付 午前9時30分より)
開会式 午前10時～ 競技10時20分～午後3時40分 閉会式 午後3時50分～

4 会 場 京都市障害者スポーツセンター

5 主 催 京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ
(一社) 京都障害者スポーツ振興会
(公財) 京都市障害者スポーツ協会

6 主 管 京都ボッチャ協会

7 後 援 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
(申請中) (一社) 京都府身体障害者団体連合会、(公社) 京都市身体障害者団体連合会、
(一社) 京都手をつなぐ育成会、(公財) 京都新聞社会福祉事業団

8 参加資格

- (1) 個人戦においては京都府内に在住、在勤、在学する者で障害者手帳(身体・療育・精神)を持つ12歳以上(令和7年4月1日現在)の者。
- (2) チーム戦においては、オープン戦とし、障がい者1名以上を含む3名のチームで参加する。

9 参加定員 *先着順に受付、定員になり次第申し込みを締め切ります。

- (1) 個人戦 24名
- (2) チーム戦(オープン) 24チーム

11 参 加 費 一人 500円

12 競技方法

- (1) 個人戦
 - ① 試合は、2エンドを基本とするが、試合数に応じて4エンドに変更することもある。
 - ② ジャックボールを含めた各選手の持ち時間の合計は、1エンドあたり各3分とする。
 - ③ 2(4)エンド終了時に同点の場合は、タイブレイク(各チームの代表によるファイナル

ショット制度で勝敗を決める。

- ④ 試合は前半プール（3人または4人）に分かれてリーグ戦を行い、後半各プール1位による決勝トーナメントを行う。
- ⑤ 各プール内の順位は次の順で決定する。
 - ・勝った試合が多い者
 - ・勝ち試合が同じ場合は、直接対決で勝った者
 - ・上記で決まらない場合は得失点差の多い者
 - ・それでも決まらない場合は総得点の多い者
 - ・上記の全ての条件でも決定しない場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で決定する。

(2) チーム戦（オープン）

- ① 試合は、2エンドを基本とするが、試合数に応じて4エンドに変更することもある。
- ② ジャックボールを含めた各チームの持ち時間の合計は、1エンドあたり各3分とする。
- ③ 2（4）エンド終了時に同点の場合は、タイブレイク（各チームの代表によるファイナルショット制度）で勝敗を決める。
- ④ 試合は前半プール（3チームまたは4チーム）に分かれてリーグ戦を行い、後半各プール1位のチームによる決勝トーナメントを行う。
- ⑤ 各プール内の順位の決定は、個人戦の順位決定と同じ基準で行う。

*タイブレイク（ファイナルショット制度）

- ・2（4）エンド終了時に同点だった場合は、コート中央のクロスにジャックボールを配置し1球ずつ投球してジャックボールにより近いボールを投球した方を勝者とする。
- ・投球順序は、タイブレイクエンド開始前にコイントスで決められ、先に投球する選手または、チームのジャックボールが使用される。ファイナルショットは、主将が指名する選手1名が個々のチームを代表して投球する。

13 競技規則

競技規則は、一般社団法人日本ボッチャ協会競技規則フレンドリーマッチ版 V.1.0 および、大会申し合わせ事項に則る。

14 申込方法 参加申込用紙に必要事項を記入し、下記申込先に郵便かFAXでお送りください。

＜申込先＞ 〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5番地
京都市障害者スポーツセンター内
一般社団法人京都障害者スポーツ振興会 宛
FAX 075-712-7015

15 申込締切 5月10日（土）**必着**

※締め切り日を過ぎてからの申し込みは、一切受け付けませんのでご注意ください。

16 表 彰

個人戦（立位・座位別）、チーム戦（オープン）別の1～3位チームにメダルと賞状を贈る。

個人戦で立位の1位、座位の1位で対戦し、勝者には京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ杯を贈る。

チーム戦の優勝チームに京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ杯を贈る。

17 その他（誓約・注意事項）（下記事項を承諾の上、申し込みをお願いします。）

- ・大会参当日は、できる限り公共交通機関でお越しください。大会当日は、体育室以外のプール・卓球室・トレーニング室等を個人利用される多くの障がいのある方々がおられます。駐車スペースは、その方々と共用します。やむを得ない事情により、お車での来場を希望される場合は、事前に下記の問い合わせ先にご相談ください。駐車台数を制限して「駐車証」を発行します。但しご希望に添えない場合もありますこと、予めご了承ください。
- ・主催者において傷害保険に一括加入します。保険の適用外は自己負担となりますので、予めご了承ください。
- ・競技中の事故については、応急処置のみ主催者において行いますが、その後の責任については一切負いません。
- ・貴重品等については、各自の責任において保管してください。盗難・紛失等の責任については主催者では一切責任を負いません。
- ・大会出場中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権は、主催者に帰属します。

<問い合わせ先> 一般社団法人京都障害者スポーツ振興会

〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5番地

京都市障害者スポーツセンター内

電話 075-712-7010（平日10時から18時まで）

＊ 但し、火曜日と第3金曜日のセンター休館日を除く

大会申し合わせ事項

1. 競技規則

「(一社) 日本ボッチャ協会競技規則フレンドリーマッチ版 v. 1. 0」と本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技方法

(1) 全体ルール

- ① 大会は個人戦（立位・座位別）と団体戦（チーム）とする。予選リーグを行った後に決勝トーナメントを行い、1～3位を決定する。
- ② 団体戦（チーム）の1ゲームにおける出場選手は3人とし、各ゲーム前に決定する。
出場選手の交代については、エンドとエンドの間に審判に申告した場合にのみ認められる。
- ③ 試合前のウォームアップは1分間、または全員が投げ終わるまでとする。
- ④ 1ゲーム2（4）エンドで行う。
- ⑤ チームの1エンドの持ち時間は3分とする。ただし、障害のある選手で、ランプを使用して競技をするエンドについてはそのチームの持ち時間は5分とする。
- ⑥ 反則については、基本的には取らないが、以下の行為について、審判から注意を促されても繰り返す場合には、ルールに則った反則を取ることがある。

【注意の対象行為】

- ・スローイングライン、スローイングボックスの線を踏んで投球する。
- ・自分の持ち時間以外にボールを投げたり投球準備をしたりする。
- ・ランプの選手とランプオペレーターがエンド中に喋る。
- ・ランプオペレーターがエンド中にコートを見る。
- ・ランプの選手の明らかな同時投球・自動投球がある。
- ・監督・コーチや控え選手が試合中に選手に助言をする。

※今大会はランプのスイングについては注意、反則はとらない。

(2) 予選リーグ

- ① 予選リーグは1プール3～4人（チーム）で行う。
- ② 各選手（各チーム）は2～3試合を行う。順位決定方法は、1.勝ち数 2.直接対決の勝者 3.得失点差の多いチーム 4.総得点の多いチームとする。それでも決まらない場合は、各チーム代表者による1球のみのタイブレーク（ファイナルショット制度）により決定する。

(3) 決勝トーナメント

- ① 個人戦は各プール1位、団体戦は各プール1・2位のチームにより、トーナメント形式で行う。
- ② 準決勝、3位決定戦、決勝を行い、1～3位を決定する。
- ③ 同点の場合は、1球のみのタイブレークにより勝利チームを決定する。ただし、決勝戦と3位決定戦で同点となった場合はもう1エンド行って勝敗を決める。

3. 諸注意

- (1) 試合は、各コートのタイムテーブルに従って行う。試合開始5分前には各コート付近に待機しておいてください。
- (2) 重度体育室・プレイルームをウォーミングアップおよび選手控室としますので、練習や休憩の際はこちらをご利用ください。食事は、テーブルのある場所や会議室、図書室、観覧席（体育室及びプール）を使用してください。体育室内では、飲食はできません。
- (3) 貴重品・荷物などは、各自及び各チームで責任を持って管理してください。